

京都市体育振興会連合会創立70周年宣言

変か外振

～100周年を目指して～

《活性化方策》

1 活力と魅力あふれる組織に

体振事業企画に若手メンバーの参画／市連合会長ポストへの定年・任期制導入

2 地域スポーツを共に支えるスポーツ推進指導員の一層の活躍

スポーツコーディネーターとして活躍／競技大会にも参加／登用方法の多角化

3 広報の充実

SNSの活用など活動を幅広く発信

4 時代に応じた活動に

モルックはじめニュースポーツの普及／参加しやすく楽しい大会へ日程・運営見直し

5 これからの時代に向けた名称の変更

(仮称)京都市スポーツ振興会連合会／令和10年・創立75周年までに移行

京都市体育振興会連合会は、昭和28年（1953年）に結成以来、地域の小学校で学区民体育祭やスポーツサークル活動を実施し、多くの市民の皆様にご参加をいただきました。活動に当たっては京都市スポーツ推進指導員の皆様と共に運営し、地域の仲間と一緒に身近にスポーツを楽しめる環境づくりに取り組んでまいりました。

しかしながら、近年、体振活動を取り巻く環境は大きく変化しています。少子高齢化が進むとともに人口の流動性が一層高まっています。スポーツ自体も勝ち負けを競うだけでなく、スポーツを通じたコミュニケーションや自己充実を楽しむ種目、またパラスポーツも注目されております。

京都市体育振興会連合会は、創立70周年を契機として、先人から受け継いだこの貴重な活動を、将来にわたってより一層発展させることを目指して、体育振興会在り方検討委員会を設け、スポーツ推進指導員にも参画いただき、今後の活動について議論を重ね、5つの活性化方策をまとめました。

スポーツ推進指導員の皆様と共に、これらの活性化方策を通じて、地域におけるスポーツ活動の魅力を一層高め、より多くの市民の皆様にご生涯を通じてスポーツを楽しんでいただくこと、さらにはスポーツを通して住民の交流を深め、自治会や町内会など地域コミュニティ活動の活性化に寄与することを目指してまいります。

令和6年1月14日

京都市体育振興会連合会
常任理事一同